

垣根を超え
国境を越えた
14人の挑戦者
資料①

ふるさとの笑顔が、
咲き始める場所
地域包括ケアシステムを实践する、
とある病院のチャレンジ



田中志子
これからのまちづくりを担うのは「病院」だ!
医療・介護・福祉を一体化させ

一人ひとりに届ける福祉が支える
フランスの子どもの
育ちと家族
安發明子 著
Awa Akiko



異端の福祉
重度訪問介護を
ビジネスにした男
高浜敏之



大学院の
授業名は
現場に学ぶ
医療福祉
倫理

ジャーナリストたちの挑戦

7 + 1人の医学ジャーナリストの開拓

患者による患者のための 権威に逆らって



精神医療に取り組んだ9人のジャーナリストの度胸

虫の目・鳥の目・歴史の目・想像力と度胸

24回を重ねた・医療と福祉・現場と策をつなぐ集い

ゲイ・レズビアン・薬物中毒・認知症・少年院出身者が

3つの教え

信頼できる人が財産・10を知って1を書く・
本人の身になって



7人+1人の
ジャーナリストたちの
開拓の歴史 (資料②)

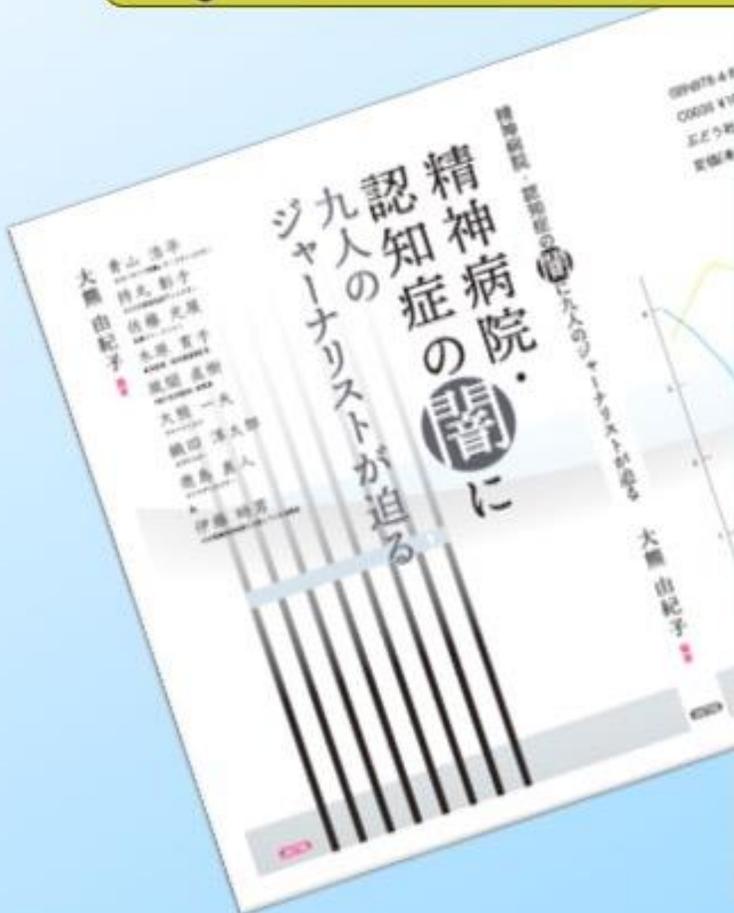


9人のジャーナリスト+時男さんの度胸（資料③書籍）

公開講義聴講のみなさんには教材としてプレゼントしますp(^-^)q



去年の **えにし**の会'23 から 本ができました



ゆきさんに住所をメールで送ると
1760円が2割引以下に
送料含め **1500円**でお求めになれます

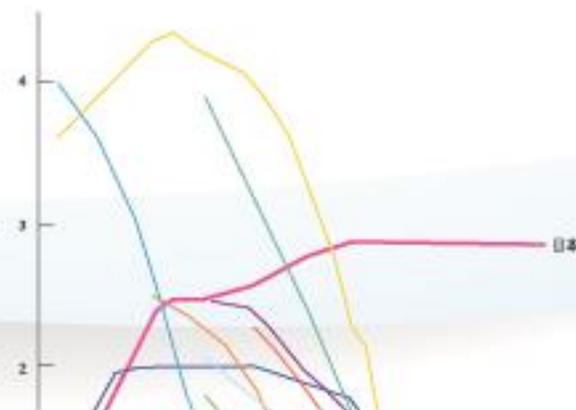
大熊 由紀子 著

青山 浩平
元NHKテレビ番組「ノンフィクション」
 持丸 彰子
元NHK報道部長ディレクター
 佐藤 光展
編集ジャーナリスト
 木原 育子
元NHK報道部長
 風間 直樹
元NHK報道部長
 大熊 一夫
ジャーナリスト
 織田 淳太郎
元NHKディレクター
 鹿島 真人
元NHKディレクター
 &
 伊藤 時男
元NHK報道部長

精神病院・認知症の「闇」に 九人の ジャーナリストが迫る

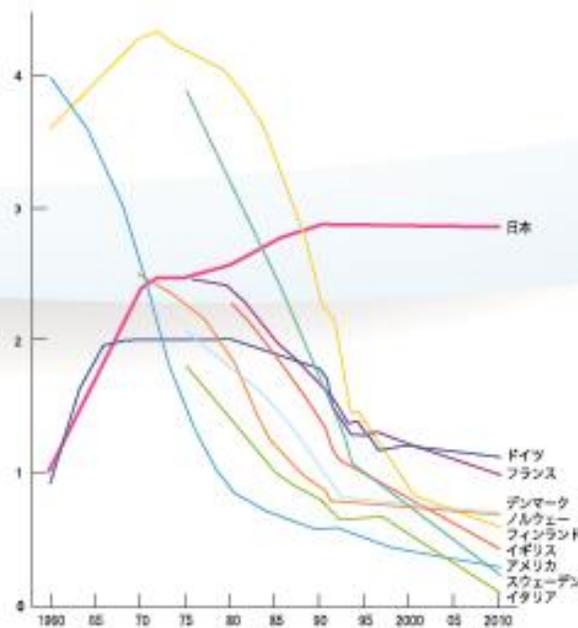
精神病院・認知症の「闇」に九人のジャーナリストが迫る

ISBN978-4-89240-261-6
 C0036 ¥1600E
 ぶどう社
 定価(本体1,600円+税)



帯をとると

日本の精神医療の
 異様さがひとめで



各国の人口1000人あたりの精神科病床数

精神病院・認知症の「闇」に斬りこむ

「本人以外は幸せ」というシステム

- ・日本に残ったブラックボックス
- ・患者たちを見くびるな

経営が一番、患者の人生は二番

- ・八期十六年
- ・「ドン」が操く入院者の幸せ
- ・経営記者は聞かない
- ・ゲリラ取材でしか見えない世界

ぶどう社

精神病院の「闇」にある国、ない国

「闇」にある国、ない国
 頭突事故があつて助かった
 1時男さん六十歳の青春
 トリエスタ精神保健改革か
 ら学ぶこと
 想像力と度胸に裏打ちされてこそ

大熊 由紀子 著

「アカデミズムとジャーナリズムは、近代が生み落とした不仲のきょうだいのようなもの。たがいの作法や思考の筋道を信用できないでいる」と言われます。この「不仲な二つの作法」を融合して、前例を超え、前例を創る道をさぐるうと、この本では、九人のジャーナリストが四つの方法で「精神病院・認知症の闇」に迫りました。

まえがきより (大熊由紀子)

ぶどう社

ぶどう社

ぶどう社

24回を重ねた・医療と福祉・現場と策をつなぐ集い (資料④と下のURLを)

<http://www.yuki-enishi.com/enishi/enishi-2001.html>

<http://www.yuki-enishi.com/enishi/enishi-00.html>



呼びかけ人

(当事者ネットワーク)

池田省三 (介護の社会化を進める一万人市民委員会)
勝村久司 (医療情報の公開・開示を求める市民の会)
川内美彦 (障害をもつ人の権利リーガルアドボカシー)
見坊和雄 (老いを共に楽しむネットワーク)
佐々木信行 (ピープルファーストをはなしあおう会)
佐藤きみよ (ベンチレーター使用者ネットワーク)
高阿正 (全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)
田中徹二 (障害分野NGO連絡会)
多田宮子 (さくら会)
芳賀優子 (弱視者問題研究会)
樋口恵子 (高齢社会をよくする女性の会)
樋口恵子 (全国自立生活センター協議会・JILL)
山崎多美子 (全国精神障害者団体連合会・ぜんせいれん)
山田昭義 (障害者インターナショナルDPI)
渡辺啓二 (ジョイプロジェクト)

(支援ネットワーク)

池田昌弘 (宅老所・グループホーム全国ネットワーク)
伊藤哲寛 (精神医療をよくする市民ネットワーク)
北岡賢剛 (全国地域生活支援ネットワーク)
熊谷崇 (日本ヘルスケア歯科研究会)
小林洋二 (患者の権利法をつくる会)
菅原弘子 (福祉自治体ユニット)
高橋儀平 (福祉のまちづくり研究会)
高見国生 (呆け老人をかかえる家族の会)
坪井栄孝 (女性・子ども・命・未来を守る会)
藤井克徳 (共同作業所全国連絡会)
藤田康幸 (医療改善ネットワーク)
別府宏園 (正しい治療と薬の情報)
星川安之 (共用品を広めるネットワーク)
山岡義典 (日本NPOセンター)
リャン・スンチ (日本ホスピス・在宅ケア研究会)
渡辺文学 (たばこ問題情報センター)

(自治体)

浅野史郎・宮城県知事
岩川 徹・鷹巣町長
國松善次・滋賀県知事
坂本祐之輔・東松山市長
潮谷義子・熊本県知事
福田昭夫・栃木県知事
光武 顕・佐世保市長
森 貞述・高浜市長

(厚生行政)

伊藤雅治・医政局長
篠崎英夫・健康局長
今田寛陸・障害保健福祉部長
堤修三・老健局長
大塚義治・保険局長
辻哲夫・年金局長
中村秀一・審議官 (医療保険担当)
河幹夫・参事官 (社会保障担当)
山崎史郎・老健局計画課長
香取昭幸・内閣府参事官 (社会システム担当)

(朝日新聞社)

佐柄木俊郎 (論説主幹)
田辺功 (編集委員)
内山幸男 (科学部長)
臼井敏男 (社会部長)
吉田慎一 (くらし編集長)
川名紀美 (論説委員)
伊中義明 (論説委員)
浜田秀夫 (論説委員)
高橋真理子 (論説委員)
和田公一 (社会部)
生井久美子 (くらし編集部)

福祉と医療・現場と政策の「新たな
えにし」を結ぶ会
鼎談「ほんまに みんなで考えたい
——人の福祉（しあわせ）」



いまはNHKバ
玉木さん、
糸賀一

←同期



2008

経済財政諮問会議の呪いから逃れるために～
前厚生労働大臣・県知事・町長さん・女性代表が、政府に異議申し立て



大討論会「どう変える～日本のすべての人の未来 ～社会保障と税の一体改革をめぐって～」

与謝野馨さんはホワイトボードをつかって「なぜ消費税10%？」と熱弁を
 声を出しての講演のこれが最後になりました（涙）
 目が見えず耳が聴こえない福島智さんの論理的な発言を支えるのは
 両側の指点字通訳者です

2012

「介護保険30年～原点に戻って考える」

介護保険の“猛母”…樋口恵子さん

ミスター介護保険…山崎史郎さん

高齢者介護・自立支援システム研究会（通称、大森研）の…大森彌さん

自・社・公政権・福祉プロジェクトの自民党のキーマンだった…衛藤農一さん

自・社・公政権・福祉プロジェクトの社会党のキーマンだった…五島正規さん

“介護保険の産婆”を名乗る 介護保険の哲人…堤修三さん

2010

3つの教え
本人の身になること
資料⑤



ークセッション タブーへの挑戦

医師&ナースのレズビアンカップル
 同い障害をもつことになることを承知で出産した母と成長した娘・宇宙で
 元暴走族。喧嘩で大怪我を負わせて少年院へ。
 いまは孤独な少年たちの居場所をつくる「セカンドチャンス!」代表 21



くきもんのお菓子を毎年差し入れてくださる熊本県のカリスマ部長・森枝さん。益城町を地震が襲ったというので。



2012年11月21日

国際医療福祉大学大学院公開講義乃木坂スクール# 10

「発信力を磨いて政策を変える・倫理を変える～現場から・当事者から～」

認知症を公表して、生きるということ

「当事者の物語が社会を変える」

- ◆「麻薬に溺れ、大切な弟を巻き込んだ過去」と映画監督 & 俳優
- ◆弟のケリーの悲劇を日本の医療改革に生かしてほしいと涙ながら
- ◆「LGBTは『いない』のではなく『みえていない』だけ」と
区役所の当事者課長



佐藤 雅彦



中村 成信